

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆日銀、25日から決定会合 市場予想は「現状維持」多く

・日銀は25～26日に金融政策決定会合を開く。3月会合でマイナス金利を解除したばかりでもあり、市場で今会合での追加利上げを見込む声は少ない。ただ急速に進む円安がインフレの再燃につながるリスクはくすぶっており、日銀は金融市場の動向や賃金と物価の好循環の強まりを慎重に見極める意向。

#### ◆財務省、財政投融资の用途を点検 海外比率20年で4倍

・財務省は低利の融資や出資を通じて民間事業を支援する「財政投融资」の用途の点検作業に着手した。脱炭素など成長産業の資金需要が膨らみ、海外向け支援の比率は20年間で4倍になった。注力分野や、投資回収など収益性が適正かを見定める。一部の官民ファンドでは累積損失が生じており、収益改善が課題となっている。

#### ◆消費者物価3月2.6%上昇 2年連続で日銀目標の2%以上

・総務省が発表した3月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が106.8となり、前年同月比で2.6%上昇。伸び率は22年4月から2年連続で日銀の物価安定目標の2%以上。食料などの価格の高止まりが続く。前年同月比での上昇は2年7カ月連続。伸びは2月の2.8%から縮小。生鮮食品とエネルギーを除く総合指数は2.9%上がった。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆鉄鋼・化学、資材価格上昇へ 4～6月に「賃上げ転嫁」

・人手不足や大幅な賃上げを受けた人件費高が、鉄鋼や合成樹脂(プラスチック)といった産業資材の国内取引価格を押し上げ始めた。日本経済新聞の調査によると4～6月は主要品目の6割で価格が上がる見通し。原材料高に続き、人件費高騰分の転嫁が新たな値上げ圧力を生む構図。最終的に住宅や食品などの値上がりにつながる可能性がある。

#### ◆23年度、窓枠用塩ビ出荷量が増加 断熱窓の需要増背景に

・塩ビ工業・環境協会がこのほど公表した「2023年度塩化ビニル樹脂製品別生産出荷実績」によると、2023年の窓枠用途の出荷量が前年比13.6%(4159レジントン※増)の3万4813レジントン。2017年以降では最多。「先進的窓リノベ事業」(環境省・経済産業省)の好調による断熱窓の需要の高まりが背景にあると考えられる。

#### ◆長期優良化リフォーム事業の受付開始 インспекション要件に

・国土交通省は2024年度「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の受付募集を開始した。事業者登録と事前採択タイプの提案を受け付けている。同事業では、戸建住宅や共同住宅のリフォーム工事を対象に、既存住宅の性能向上や子育てしやすい環境などの整備に資する優良なリフォームを支援する。

### 《 注目商品 》

#### ■ノーリツ、バーナー間を広くしたビルトインコンロ

・中級価格帯のガスビルトインコンロの新商品「Nest(ネスト)」シリーズを発売。バーナー間の距離を従来品よりも20～30mm広げることで大きな鍋やフライパンを並べて調理が調理ができるようになり、利便性が向上。



#### ■リンナイ、ILO(イーロ)ビルトイン食器洗い乾燥機

・キッチンに合わせて部品の色が選べるビルトインガスコンロシリーズ「ILO」から、システムキッチンに組み込む食器洗い乾燥機。フロントオープンと標準スライドオープンの2種があり、扉材6色、フロント操作部2色(スライドオープンは1色)、最大12通りの組み合わせから選べる。



#### ■エ機HDジャパン、「HiKOKI」からコードレスインパクトドライバ「WH 36DD」

・電動工具ブランド「HiKOKI(ハイコーキ)」から、アプリに新モードを追加し、さらに使い易くアップデートされたコードレスインパクトドライバ WH 36DD を発売。ねじ締め時のカムアウトを低減する「細ビスモード」、小形・高出力モーターの搭載や暗所でも視認できるバックライトを採用。

